

令和6年度（2024年度）新規研究課題

課題番号：R6-01

課題名：イチゴ次世代品種の探索および導入

研究期間：令和6年度～令和10年度（2024年～2028年）

研究担当：農林業技術部 農業技術研究室

1 研究の背景

本県の主力品種である「かおり野」は、平成24年度から推奨品種として県下全域で普及推進を行ってきた。「かおり野」は、早生性、多収性に優れているものの、果実品質等の問題が指摘される。また一方で、近年、種子繁殖型の品種が登場する中、育苗の省力化や病害対策に期待を寄せる声もある。

2 目的

国や公設試、民間が開発した品種を利用して、多収、高品質、省力性を考慮した次世代品種を効率的に選定する。

3 研究内容

- (1) 多収で果実品質のよい栄養繁殖型品種を選定
- (2) 育苗作業の軽減となる種子繁殖型品種を選定
- (3) 山口県の次世代品種を選定する。

4 研究のポイント

現存する品種から選定するため、生産力検定から開始することができ、交配から始めるよりも目標達成が早いことが期待される。

イチゴ次世代品種の探索および導入

研究期間：R6-R10（2024-2028）

研究担当：農林業技術部農業技術研究室

背景

・山口県推奨品種の「かおり野」の収量は高いが果実品質に対して改善点があり

*右の写真は「かおり野」

・種子繁殖型品種の登場によりイチゴ栽培に変化が起こる可能性あり



研究内容

(1) 多収で果実品質の良い
栄養繁殖型品種の選定



多収・高品質果実品種

(2) 育苗作業の軽減となる
種子繁殖型品種の選定



・親株養成から育苗までの3月～8月の作業が削減できる

・毎年イチゴの株を完全に更新できるため、重要病害の解決策となる



(3) 山口県の次世代品種の選定

多収・高品質果実・省力的な品種



期待される成果

県内で品質の高いイチゴ品種を推奨品種とすることで
山口いちごブランド構築に貢献